

授業科目	看護情報学		
担当者名	渋川 美紀・菅井 裕美・菅野 輝之	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	情報通信技術（ICT）を含む保健医療情報全般の特徴、活用時のポイント、医療現場における情報システム・情報倫理について理解を深め、医療・看護情報を有効に扱うリテラシーを習得するとともに、パソコンを用いて文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。		
授業科目の到達目標	1. 情報の定義と特徴を理解する。 2. 保健医療における情報の活用方法を理解する。 3. 情報と倫理の基礎的知識と考え方を身につける。 4. Excel・Word・PowerPoint・インターネットの基本操作を身につける。 5. 一連の活動を報告書、もしくはプレゼンテーションの形で発表できる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】情報の定義と特徴	第1章(P3～22)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
2	【講義】社会と情報	第2章(P23～36)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
3	【講義】保健医療と情報	第3章(P39～62)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
4	【講義】看護と情報	第4章(P63～88)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
5	【講義】医療における情報システム	第5章(P89～128)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
6	【講義】情報倫理と医療	第6章(P131～140)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
7	【講義】患者の権利と情報	第7章(P141～158)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
8	【講義】個人情報の保護	第8章(P159～174)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
9	【講義・演習】情報処理	第10章(P197～224)を読み、章末の復習と課題を考えておく	渋川 美紀
10	【講義】コンピューターリテラシーとセキュリティ	第9章(P175～194)を読み、章末の復習と課題を考えておく	菅野 輝之
11	【講義・演習】Excel・Word・PowerPointの基本的な使い方		菅井 裕美
12			菅井 裕美
13	【講義・演習】Excel・Word・PowerPointの基本的な使い方		菅井 裕美
14			菅井 裕美
15	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 臨地実習の前に知っておきたい情報モラル メヂカルフレンド社
参考書	
成績評価の方法	筆記試験（60/100点）プレゼンテーション(40/100点)
その他、受講生への要望など	

授業科目	英語Ⅰ		
担当者名	秋山 俊介	実務経験	
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	国際化の進展に伴い、医療現場でのコミュニケーションのツールとして英語を用いる機会が増えつつある。本科目では、医療現場でよく使われる医学英語の専門用語、略語等を理解するための英語の基礎的知識を養う。		
授業科目の到達目標	1.医療英語の理解と活用に必要な、英語の基礎知識を修得する。 2. 医療従事者として必要となる身体の部位・疾患や症状を英語で正しく表記し、発音する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】オリエンテーション		秋山 俊介
2	【講義・演習】英語の基礎		秋山 俊介
3	【講義・演習】英会話と自己紹介		秋山 俊介
4	【講義・演習】医療英語の基礎		秋山 俊介
5	【講義・演習】医療英語		秋山 俊介
6	【講義・演習】医療英会話		秋山 俊介
7	【講義・演習】まとめ		秋山 俊介
8	【試験】		内部教員

テキスト	Speaking of Nursing (南雲堂) ISBN: 9784523178507		
参考書			
成績評価の方法	出席（30％） 課題及び提出物（35％） 筆記試験（35％）		
その他、受講生への要望など	現場で英語を使うことを想定し、知識だけでなくコミュニケーションを取ることを念頭に置いた受講を望みます。		

授業科目	人間関係論		
担当者名	宮之脇 義文	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	自己理解を深め、その上でコミュニケーションの知識、技法を学ぶことにより、日常の人間関係を良好に保つ能力を身に付けるとともに、看護の対象となる人との良好な関係づくりの基盤を学ぶ。		
授業科目の到達目標	1. 自分から見た自分、自分から見た他者、他者から見た自分について理解する。 2. 他者と信頼し合える良好な関係を形成し、維持・発展するための理論と技法を理解する。 3. カウンセリング・心理療法の種類とその方法を説明する。 4. 他者の立場に立って、その人の感情や行動について考えることができ、自分の対応を選択できる。 5. 保健医療におけるチームの特性と看護師の役割を説明する。 6. 医療者として、対象となる人々を理解し、状況に応じた説明や対応をするための基礎知識を修得する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】人間関係の中の自己と他者		宮之脇 義文
2	【講義・演習】対人関係と役割		宮之脇 義文
3	【講義・演習】態度と対人行動		宮之脇 義文
4	【講義・演習】態度と対人行動		宮之脇 義文
5	【講義・演習】集団と個人		宮之脇 義文
6	【講義・演習】コミュニケーション		宮之脇 義文
7	【講義・演習】対人コミュニケーション		宮之脇 義文
8	【講義・演習】カウンセリング・心理療法の理論とスキル		宮之脇 義文
9	【講義・演習】コーチングの理論とスキル		宮之脇 義文
10	【講義・演習】アサーティブ-コミュニケーション		宮之脇 義文
11	【講義・演習】医療におけるチームと看護師の役割		宮之脇 義文
12	【講義・演習】患者を支える人間関係		宮之脇 義文
13	【講義・演習】家族を含めた人間関係		宮之脇 義文
14	【講義・演習】地域をつくる人間関係		宮之脇 義文
15	【試験】		内部教員

テキスト	メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論 南山堂	
参考書		
成績評価の方法	筆記試験 100点	
その他、受講生への要望など	一緒に学んでいきましょう	

授業科目	心理学		
担当者名	宮之脇 義文	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	心理学の基本的な理論をもとに人間の心の形成・発達プロセスについて学び、自己分析し、自己理解を深めることによって、自己と広く人間一般の行動と心理とその背景について考える視点を養う。自己の成長と生きる力の増進、及びより良い人間関係の構築に活かす。		
授業科目の到達目標	1. 心理学の基本的な概念について説明する。 2. 感覚・知覚のしくみとはたらき、記憶・思考・言語・知能について説明する。 3. 心の適応と不適応について説明する。 4. 心理学の各領域の特色を説明する。 5. 対人援助と心理学について説明する。 6. 自己の成長とより良い人間関係を構築するための力を養う。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】心理学とは		宮之脇 義文
2	【講義・演習】感覚と知覚		宮之脇 義文
3	【講義・演習】記憶		宮之脇 義文
4	【講義・演習】思考・言語・知能		宮之脇 義文
5	【講義・演習】学習		宮之脇 義文
6	【講義・演習】感情と動機づけ		宮之脇 義文
7	【講義・演習】性格とパーソナリティ		宮之脇 義文
8	【講義・演習】社会と集団		宮之脇 義文
9	【講義・演習】発達		宮之脇 義文
10	【講義・演習】心の適応と不適応		宮之脇 義文
11	【講義・演習】心理療法		宮之脇 義文
12	【講義・演習】医療職と対人援助		宮之脇 義文
13	【講義・演習】患者の心理		宮之脇 義文
14	【講義・演習】医療・看護職の心理と心のケア		宮之脇 義文
15	【試験】		内部教員

テキスト	心理学・臨床心理学概論 第3版 北樹出版		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 100点		
その他、受講生への要望など	一緒に学んでいきましょう		

授業科目	哲学		
担当者名	宮之脇 義文	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	哲学は人間のあらゆる知的営みの根本の学びととらえる立場から「人間とは何か」「人間とはいかに生きるべきか」という根本的な問いを考える学問である。本科目では、哲学という学問についての包括的な知識について学び、現代社会の諸問題を視野に入れながら深く考える態度を養成する。		
授業科目の到達目標	1. 西洋の知の伝統を振り返り、その根本特徴を理解するとともに東洋的なものの見方考え方と比較考察する。 2. 現代の諸問題の根底にあるものを理解し、解決の方向性を深く考える態度を養う。 3. 自分自身の生き方について内省し、同時に他者の心情を思いやる態度を涵養する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】哲学とは何か		宮之脇 義文
2	【講義】古代の哲学		宮之脇 義文
3	【講義】中世の哲学		宮之脇 義文
4	【講義】近代の哲学		宮之脇 義文
5	【講義】東洋の思想		宮之脇 義文
6	【講義・演習】現代科学の諸問題（生命倫理）		宮之脇 義文
7	【講義・演習】哲学の今後の課題		宮之脇 義文
8	【試験】		内部教員

テキスト	哲学入門 第3版 身体・表現・世界 学研		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 100点		
その他、受講生への要望など	一緒に学んでいきましょう		

授業科目	文化人類学		
担当者名	齋藤 正憲	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	文化人類学は「人間とは何か」について社会的・文化的側面から研究する学問である。自分が属する社会と異なる文化をもつ社会や民族間の比較を通して生活習慣や健康、病気についての異なる考え方を理解し、人間のものの見方や考え方の多様性について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 文化人類学の基本的な理論や手法について説明する。 2. 病気に関わる諸現象を疾病／病気／病いという区別を使って説明する。 3. 人間の誕生から死までについて様々な立場から考察する。 4. 医療や身体をめぐる多様な価値観について具体的に説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】文化人類学とは何か？	テキストpp.16-21を讀んでおくこと	齋藤 正憲
2	【講義】文化人類学の理論①：贈与論	テキストpp.34-39を讀んでおくこと	齋藤 正憲
3	【講義】文化人類学の理論②：親族の基本構造	テキストpp.76-82を讀んでおくこと	齋藤 正憲
4	【講義】文化人類学の理論③：構造主義	レヴィ＝ストロースについて調べておく	齋藤 正憲
5	【講義】文化人類学の理論④：中心と周縁	両義性について調べておくこと	齋藤 正憲
6	【講義】動物化するポストモダン	動物化について調べておくこと	齋藤 正憲
7	【講義】家族のなりたち、現代社会と家族	テキストpp.67-75を讀んでおくこと	齋藤 正憲
8	【講義】ジェンダーとセクシュアリティ	テキストpp.57-64を讀んでおくこと	齋藤 正憲
9	【講義】人生と通過儀礼	テキストpp.110-115を讀んでおくこと	齋藤 正憲
10	【講義】宗教と文化人類学	テキストpp.135-140を讀んでおくこと	齋藤 正憲
11	【講義】呪術の文化人類学①：石垣の巫者と司祭	呪術について調べておくこと	齋藤 正憲
12	【講義】呪術の文化人類学②：宮古の巫俗	ユタとツカサの関係についてまとめる	齋藤 正憲
13	【演習】医療人類学	テキストpp.163-170を讀んでおくこと	齋藤 正憲
14	【演習】いのちと文化	テキストpp.206-207を讀んでおくこと	齋藤 正憲
15	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験		
その他、受講生への要望など	ひとに興味を持ちましょう		

授業科目	生活環境論		
担当者名	高橋俊守・阿久津瞳	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	人間の生活は、地球の生態系や生物多様性に依存して成り立っている。このことは、森の恵みを利用して暮らしてきた我が国の歴史や文化にも随所に表れている。自然豊かな郊外だけでなく、都市の生活環境に目を向けても、生態系や生物多様性の恵みを受けて暮らしが実現していることは同様である。自然と人間が共生し、私たちの生活に欠かせない自然を持続可能にするために理解しておくべき自然の価値について、事例を交えながら学ぶ。		
授業科目の到達目標	1. 生態系と生物多様性を説明できる。 2. 人間の生活が生態系サービスに支えられていることを説明できる。 3. 歴史や文化における自然と人間の関係を説明することができる。 4. 自然公園や里山における自然と人間の関係を説明することができる。 5. 都市の身近な緑における自然と人間の関係を説明することができる。 6. 自然と人間が共生するための諸方策について説明することができる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】自然と人間	随時指示	高橋 俊守
2	【講義】自然と人間の歴史	随時指示	阿久津 瞳
3	【講義】自然と人間の文化	随時指示	阿久津 瞳
4	【講義】里山の自然と暮らし	随時指示	阿久津 瞳
5	【講義】森林・木材と心身の健康	随時指示	阿久津 瞳
6	【講義】栃木県の自然公園と山々	随時指示	阿久津 瞳
7	【講義】都市の緑とその役割	随時指示	高橋 俊守
8	【講義】自然と人間の共生	随時指示	高橋 俊守

テキスト	講義資料またはレジュメの電子データを配布します。
参考書	参考図書は授業において随時示します。
成績評価の方法	課題レポートによって評価します。
その他、受講生への要望など	講義で得た知識を生活において実践的に役立てることができるように、講義で紹介した様々な場所に実際に出かけ、理解を深めていただくことを期待しています。

授業科目	法と人権		
担当者名	桑島 翠	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	専門職業人として必要な人権感覚を身につけるため、人権とは何か、人権と法との関係について学習する。また、人権を守るとはどういうことなのか、現代社会における人権に関する諸問題について考察することにより、人権擁護に努める態度を養う。		
授業科目の到達目標	1. 人権保障の歴史と意義について知る。 2. 日本国憲法における人権規定の内容と関係法規について理解する。 3. 自己決定権のあり方が考えられる。 4. 日本における人権問題を理解し、解決策を考える。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 イントロダクション、人権の享有主体		桑島
2	【講義】 幸福追求権		桑島
3	【講義】 法の下での平等		桑島
4	【講義】 思想・良心の自由、信教の自由		桑島
5	【講義】 表現の自由		桑島
6	【講義】 経済的自由		桑島
7	【講義】 社会権		桑島
8	【試験】		桑島

テキスト			
参考書	憲法Ⅰ 人権 有斐閣 青木未帆、山本龍彦		
成績評価の方法	筆記試験		
その他、受講生への要望など			

授業科目	教育学		
担当者名	黒羽 正見	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	教育とは相手を知り、個人に合った方法を提供し、的確に評価していくことである。本科目では、人間の発達や教育の思想・制度といった観点から看護における教育的役割および生涯学習、教育の意義について理解を深め、考察する。また、看護実践の応用につながる専門職としてのあり方について、教育学的思考や専門職としての倫理観から検討するとともに、教育をめぐる社会的問題等について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 教育に関する基礎的な概念を理解する。 2. 教育の対象者への関わり方を理解する。 3. 発達と教育の関係を説明する。 4. 現代社会と教育の課題を提言できる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】オリエンテーション		黒羽 正見
2	【講義】教育の概念		黒羽 正見
3	【講義】教育の対象		黒羽 正見
4	【講義】教育の組織化		黒羽 正見
5	【講義】人を教えるということ		黒羽 正見
6	【講義】訓育/養護		黒羽 正見
7	【講義】発達		黒羽 正見
8	【講義】学びの場－家庭と学校		黒羽 正見
9	【講義】教育の担い手		黒羽 正見
10	【講義】教育の場の変動		黒羽 正見
11	【講義】キャリア教育（専門教育）		黒羽 正見
12	【講義】ジェンダーとセクシュアリティ		黒羽 正見
13	【講義】特別ニーズ教育・インクルーシブ教育		黒羽 正見
14	【講義】生涯学習		黒羽 正見
15	【講義】まとめ－私がめざす看護師像の探究－		黒羽 正見

テキスト	系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	授業内小試験（70％）受講態度（30％）		
その他、受講生への要望など	受講者の主体的参加を期待する。（意見発表などの授業のルールとマナーを守ること、私語厳禁） 自分で考える習慣を身に付けること、人前で自分の意見を発表できることが基本となる。 授業では、必ず自分の意見を求められるので、恥ずかしがらないで、意見を述べる。 ノートすること、まとめて書くことが基本なので、毎時間の授業で練習していただきたい。 小論文を課すことがある。		

授業科目	さくらゼミナールⅠ		
担当者名	阿部未映子 鈴木美津枝	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	看護師を目指して入学した専門学校での学習に必要な姿勢、知識、スキルを学ぶ。		
授業科目の到達目標	専門学校での生活を有意義に送るための姿勢、知識、スキルを説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】 授業への取り組み方 ・本校の教育方針 ・これから何を学ぶのか ・高校と専門学校での学びの違いについて ・成人学習者、主体的学習について	専門学校での学び方	阿部 未映子
2	【講義】 適切なレポートの書き方 ・レポート作成の基本と留意点について ・さくらゼミナールⅠの今後について ・グループメンバーと担当教員紹介（1グループ5名程度）	レポートの書き方を学ぶ。	鈴木 美津枝
3	【演習】 各グループでテーマを決め、テーマについて調べて、発表にむけてグループワークを進める	主体的学習を経験から学ぶ ・意見交換（自己、他者意見） ・情報収集の方法、扱い方 ・資料のまとめ方	各グループ担当教員
4	【演習】 各グループでテーマを決め、テーマについて調べて、発表にむけてグループワークを進める	主体的学習を経験から学ぶ ・意見交換（自己、他者意見） ・情報収集の方法、扱い方 ・資料のまとめ方	各グループ担当教員
5	【演習】 各グループでテーマを決め、テーマについて調べて、発表にむけてグループワークを進める	主体的学習を経験から学ぶ ・意見交換（自己、他者意見） ・情報収集の方法、扱い方 ・資料のまとめ方	各グループ担当教員
6	【演習】 各グループでテーマを決め、テーマについて調べて、発表にむけてグループワークを進める	主体的学習を経験から学ぶ ・意見交換（自己、他者意見） ・情報収集の方法、扱い方 ・資料のまとめ方	各グループ担当教員
7	発表準備		各グループ担当教員
8	【発表】 ・ポスターセッションで発表する。		全学生

テキスト	特になし
参考書	特になし
成績評価の方法	レポート課題:100点 ゼミナールを通して学び得たことについてレポートを提出する。
その他、受講生への要望など	講義と演習経験から学び得たことを今後の学習に活かしてほしいです。

授業科目	さくらゼミナールⅡ		
担当者名	鈴木 美津枝	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	看護職の役割を理解する。 自身が実現しようとする専門職としての気持ちを確立する。		
授業科目の到達目標	1. 人間の生病死に関わる看護師の役割について考えることができる。 2. 看護師を目指す自己をみつめ、自身が目指す方向性を見いだす。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 ガイダンス 看護職とは 人間の「生病死」に関わる職業について	人間の一生に関わる職業について考える。	鈴木
2	【講義・演習】 生命の誕生に関わる「看護師」について	DVD視聴と教員の講和から、生命誕生に関わる「看護師」について考える。	鈴木 担当教員
3	【講義・演習】 病を患う人に関わる「看護師」について	DVD視聴と教員の講和から、病を患う人に関わる「看護師」について考える。	鈴木 担当教員
4	【講義・演習】 老いる人に関わる「看護師」について	DVD視聴と教員の講和から、老いる人に関わる「看護師」について考える。	鈴木 担当教員
5	【講義・演習】 死にゆく人に関わる「看護師」について	DVD視聴と教員の講和から、死に関わる「看護師」について考える。	鈴木 担当教員
6	【講義・演習】グループワーク 生命の誕生、病を患うことについてメンバー間で意見交換をする。		鈴木
7	【講義・演習】グループワーク 老い、死についてメンバー間で意見交換をする。		鈴木
8	【演習】 グループで意見交換した内容について全体で発表する。		鈴木

テキスト	特になし
参考書	特になし
成績評価の方法	レポート：配点100点 ※ 看護師の役割を踏まえ、看護師を目指す自己をみつめ、現時点で自身が目指す方向性についてレポートをする。
その他、受講生への要望など	看護師の役割について考え、現時点の自身が目指す方向性について表現してみましょう。

授業科目	人体の構造と機能Ⅰ		
担当者名	関根 麗子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1 単位	時間数	30時間
授業科目の概要	健康な人体の構造と機能を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 解剖生理学のための基礎知識(細胞と組織) について説明する。 2. 筋・骨格系の構造とはたらきを説明する。 3. 循環器の構造とはたらきを説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】第1章 解剖生理学のための基礎知識 ・構造からみた人体	解剖学用語手帳の作成しよう	関根 麗子
2	【講義】第1章 解剖生理学のための基礎知識 ・ホメオスタシス ・素材からみた人体（細胞の構造・細胞を構成する物質とエネルギーの生成）	ひとが生きていることの仕組みをまとめよう	関根 麗子
3	【講義】第1章 解剖生理学のための基礎知識 ・素材からみた人体（体液・染色体・分化した細胞がつくる組織）		関根 麗子
4	【講義】第7章 身体の支持と運動 ・骨格とはどのようなものか ・骨の連結	骨の機能（物理的・生理的）をまとめよう	関根 麗子
5	【講義】第7章 身体の支持と運動 ・骨格筋 ・体幹の骨格と筋	全身の骨の名前を覚える	関根 麗子
6	【講義】第7章 身体の支持と運動 ・上肢の骨格と筋 ・下肢の骨格と筋 ・頭頸部の骨格と筋	筋肉で身体の地図帳の作成しよう	関根 麗子
7			関根 麗子
8	【講義】第7章 身体の支持と運動 ・筋の収縮 ・運動と代謝		関根 麗子
9	【講義】第4章 血液の循環とその調整 ・循環器系の構成 ・心臓の構造	「動脈と動脈、心臓の構造について」作成しよう	関根 麗子
10	【講義】第4章 血液の循環とその調整 ・心臓の拍出機能 ・血液の循環の調整	検証「心臓と血圧の関係性」でわかったことの作成しよう	関根 麗子
11			関根 麗子
12	【講義】第4章 血液の循環とその調整 ・末梢循環系の構造	全身の動脈と静脈を覚えよう	関根 麗子
13			関根 麗子
14	【講義】第4章 血液の循環とその調整 ・リンパとリンパ管	リンパのまとめを作成しよう	関根 麗子
15	試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点：100点		
その他、受講生への要望など	授業計画に目を通し予習して、授業内容の概略を確認して授業に臨むことを望みます。解剖学用語がたくさんでくるので、予習により授業内容を理解しやすくなり、分かりにくいところを把握しやすくなります。課題は都度説明いたします。（自分自身の解剖ノート作成）		

授業科目	人体の構造と機能Ⅱ		
担当者名	太田 浩史	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	健康な人体の構造と機能を学修する。		
授業科目の到達目標	1.呼吸器系の名称や構造の特徴を記述することができる 2.呼吸メカニズムについて要点を抑え説明することができる 3.血液の種類と各血球の働きについて記述することができる 4.感染防御について皮膚・血球の働きと関連付けて考えることができる 5.体温調整のメカニズムについて記述することができる 6.男性・女性生殖器の部位の名称がわかる		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき ・呼吸器の構造（呼吸器の構成、気道、肺、胸膜・縦隔）	呼吸器系の講義が5回で終了 します。6回目授業開始時に 小テストを実施し、点数は評 価に反映します。	太田 浩史
2			太田 浩史
3	【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき ・呼吸（気道の機能、呼吸のメカニズム、呼吸気量、呼吸調整）		太田 浩史
4			太田 浩史
5			太田 浩史
6	【小テスト】呼吸器系の構造と機能 【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき ・血液の組成と機能 ・赤血球 ・血液型	血液・免疫系の講義が11回 目で終了します。12回目授 業開始時に小テストを実施 し、点数は評価に反映しま す。	太田 浩史
7			太田 浩史
8	【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき 第9章 身体機能の防御と適応 ・白血球 ・生体の防御機構		太田 浩史
9			太田 浩史
10	【講義】第3章 呼吸と血液のはたらき ・血小板 ・血液の凝固と線維素溶解		太田 浩史
11	【講義】第9章 身体機能の防御と適応 ・皮膚の構造と機能		太田 浩史
12	【小テスト】血液・免疫系のはたらき（皮膚の機能も含む） 【講義】第9章 身体機能の防御と適応 ・体温とその調整		太田 浩史
13	【講義】第10章 生殖器のはたらき ・男性生殖器		太田 浩史
14	【講義】第10章 生殖器のはたらき ・女性生殖器		太田 浩史
15	試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験＝終講試験（70点）＋小テスト（30点） ＊講義時の様子で各テストの配点は前後する可能性があります。		
その他、受講生への要望など	人体理解の基礎となる科目であり、この科目で学習する内容が、今後の学習の理解の助けになります。しかし、とても難しい内容になりますので、授業後の復習を欠かさず行い、次の授業時には前の授業で行ったことを理解した上で授業に望むようにして下さい。		

授業科目	人体の構造と機能Ⅲ		
担当者名	太田 浩史	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	健康な人体の構造と機能を学修する。		
授業科目の到達目標	1.体表から触知できる主要な人体部位について暗記・記述できる 2.消化管の構造と消化メカニズムとを関連付けて考えることができる 3.膵胆肝の働きについて要点をおさえ説明することができる 4.腎・泌尿器系の構造について記述できる 5.尿の生成メカニズムについて説明することができる 6.胎児の発生・成長と老化の基礎的な内容について理解できる		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】第11章 体表からみた人体の構造 ・体表から触知できる骨格部分 ・体表から触知できる大きな筋	消化器系の講義が7回で終了します。8回目授業開始時に小テストを実施し、点数は評価に反映させていただきます。	太田 浩史
2			太田 浩史
3	【講義】第2章 栄養の消化と吸収 ・口、咽頭、食道の構造と機能		太田 浩史
4	【講義】第2章 栄養の消化と吸収 ・腹部消化管の構造と機能		太田 浩史
5			太田 浩史
6	【講義】第2章 栄養の消化と吸収 ・膵臓、肝臓、胆のうの構造と機能 ・腹膜		太田 浩史
7			太田 浩史
8	【小テスト】消化器系の構造と機能 【講義】第5章 体液の調整と尿の生成 ・腎臓	腎・泌尿器系の講義が11回で終了します。12回目授業開始時に小テストを実施し、点数は評価に反映させていただきます。	太田 浩史
9			太田 浩史
10	【講義】第5章 体液の調整と尿の生成 ・排尿路		太田 浩史
11	【講義】第5章 体液の調整と尿の生成 ・体液の調整		太田 浩史
12	【小テスト】腎泌尿器系の構造と機能 【講義】第10章 生殖・発生と老化のしくみ ・受精と胎児の発生		太田 浩史
13			太田 浩史
14	【講義】第10章 生殖・発生と老化のしくみ ・成長と老化		太田 浩史
15	試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験＝終講試験（70点）＋小テスト（30点） ＊講義時の様子で各テストの配点は前後する可能性があります。		
その他、受講生への要望など	人体理解の基礎となる科目であり、この科目で学習する内容が、今後の学習の理解の助けになります。しかし、とても難しい内容になりますので、授業後の復習を欠かさず行い、次の授業時には前の授業で行ったことを理解した上で授業に望むようにして下さい。		

授業科目	人体の構造と機能Ⅳ		
担当者名	関根 麗子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	健康な人体の構造と機能を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 内分泌系の構造とはたらきを説明する。 2. 脳・神経系の構造とはたらきを説明する。 3. 感覚器の構造とはたらきを説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】第6章 内臓機能の調節 ・自律神経による調節	自律神経の図を作成しよう	関根 麗子
2	【講義】第6章 内臓機能の調節 ・内分泌による調節 ・視床下部－下垂体系ホルモン ・甲状腺と副甲状腺ホルモン ・膵臓から分泌されるホルモン ・副腎から分泌されるホルモン ・性腺から分泌されるホルモン ・その他の内分泌腺	各ホルモンのマップの作成をしよう	関根 麗子
3			関根 麗子
4			関根 麗子
5			関根 麗子
6			関根 麗子
7	【講義】第6章 内臓機能の調節 ・ホルモンによる調整の実際	ポジティブフィードバックとネガティブフィードバックをまとめよう	関根 麗子
8	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・神経系の構造と機能		関根 麗子
9	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・脊髄と脳 ・脊髄神経と脳神経 ・運動機能と下行伝導路 ・感覚機能 ・体性感覚と上行伝導路	身体を動かすメカニズム作成しよう	関根 麗子
10			関根 麗子
11			関根 麗子
12	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・眼の構造と視覚	「視る」を仕組み化しよう	関根 麗子
13	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・耳の構造と聴覚、平衡覚 ・味覚と嗅覚	「感覚器が遮断されるとどうなるのか検証」後レポート作成	関根 麗子
14	【講義】第8章 情報の受容と処理 ・痛み（疼痛） ・脳の統合機能	「ニューロンとシナプス演習」後レポート作成	関根 麗子
15	試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点：100点		
その他、受講生への要望など	授業計画に目を通し予習して、授業内容の概略を確認して授業に臨むことを望みます。解剖学用語がたくさんでてくるので、予習により授業内容を理解しやすくなり、分かりにくいところを把握しやすくなります。課題は都度説明いたします。（自分自身の解剖ノート作成）		

授業科目	生化学		
担当者名	加藤 奈津江	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	細胞における栄養素の代謝過程と人体の正常機能を維持するための仕組みを学修する。		
授業科目の到達目標	1. 代謝の基礎と酵素・補酵素について説明する。 2. 糖質の構造と機能、糖質代謝について説明する。 3. 脂質の構造と機能、脂質代謝について説明する。 4. タンパク質の構造と機能、タンパク質代謝について説明する。 5. 遺伝情報について説明する。 6. 細胞のシグナル伝達とがんについて説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】生化学とは 細胞とは		加藤 奈津江
2	【講義】代謝の基礎と酵素・補酵素・ビタミン		加藤 奈津江
3	【講義】糖質の構造と機能、糖質代謝		加藤 奈津江
4	【講義】脂質の構造と機能、脂質代謝		加藤 奈津江
5	【講義】タンパク質の構造と機能、タンパク質代謝		加藤 奈津江
6	【講義】遺伝情報・核酸		加藤 奈津江
7	【講義】細胞のシグナル伝達とがん・生活習慣病		加藤 奈津江
8	【試験】		内部教員

テキスト	イラストでまなぶ生化学 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点100点		
その他、受講生への要望など	講義内容に該当する教科書のページを予習する		

授業科目	微生物学		
担当者名	加藤 奈津美	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	微生物の特徴と人体への影響について学修する。 感染症、および各感染症を引き起こす病原微生物の特徴とそれぞれの治療について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 微生物の基礎について説明する。 2. 感染と感染症について説明する。 3. 感染に対する生体防御について説明する。 4. 感染症の検査と診断、治療について説明する。 5. 病原細菌と細菌感染症について説明する。 6. 病原ウイルスとウイルス感染症について説明する。 7. 病原真菌と真菌感染症について説明する。 8. 寄生虫と衛生動物について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】微生物学の基礎（微生物と微生物学、細菌・ウイルス・真菌の性質）		加藤 奈津美
2	【講義】感染と感染症・感染減と感染経路		加藤 奈津美
3	【講義】感染に対する生体防御機構・感染症の予防		加藤 奈津美
4	【講義】感染症の検査と診断、感染症の治療、感染症の現状と対策		加藤 奈津美
5	【講義】病原細菌と細菌感染症		加藤 奈津美
6	【講義】病原ウイルスとウイルス感染症		加藤 奈津美
7	【講義】病原真菌と真菌感染症、寄生虫と衛生動物		加藤 奈津美
8	【試験】筆記試験		内部教員

テキスト	イラストでわかる微生物学超入門 病原微生物の感染のしくみ	
参考書		
成績評価の方法	筆記試験：配点100点	
その他、受講生への要望など	授業前に、前回授業の復習プリントを解いてから授業をしていくので、復習重視の授業です。	

授業科目	栄養学		
担当者名	新井 和恵・大阿久 祐一	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	30時間
授業科目の概要	様々な栄養素の栄養学的機能と、各栄養素および人体との相互作用を学修し、看護実践の基礎とする。		
授業科目の到達目標	1. 栄養素の種類と働きについて説明する。 2. 食物の消化と栄養素の吸収・代謝について説明する。 3. エネルギー代謝について説明する。 4. 食事、食品群の分類とその特徴について説明する。 5. 栄養ケア・マネジメントについて説明する。 6. 栄養状態の評価・判定について説明する。 7. ライフステージごとの特徴と、そこにおける栄養ケア・マネジメントについて説明する。 8. 病院における栄養管理と各疾患患者の食事療法について説明する。 9. 我が国における食生活の変遷と問題点、改善への施策について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】栄養学とは		新井 和恵
2	【講義】栄養素の種類と働き		新井 和恵
3	【講義】栄養素の生理		新井 和恵
4	【講義】エネルギー代謝		新井 和恵
5	【講義】ライフステージと栄養		新井 和恵
6	【講義】栄養アセスメント		新井 和恵
7	【演習】栄養アセスメントの実際		新井 和恵
8	【講義】傷病者の栄養ケア①		新井 和恵
9	【講義】傷病者の栄養ケア②		新井 和恵
10	【講義】特別用途食品と保健機能食品		新井 和恵
11	【講義】健康づくりと栄養		新井 和恵
12	【講義】これからの栄養		新井 和恵
13	【講義】臨床栄養① ・チームで取り組む栄養管理の実際 ・病院食 ・経腸栄養剤		大阿久 祐一
14	【講義】臨床栄養② ・疾患別・症状別食事療法 ・場面別の栄養管理		大阿久 祐一
15	【試験】筆記試験		内部教員

テキスト	楽しくわかる栄養学 羊土社		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点100点（新井先生：80点、大阿久先生：20点）		
その他、受講生への要望など	栄養学に興味をもてるような授業にしていきたいと思います。皆さんも意欲的に取り組んでください。（新井） 少しでも皆さんのためになれるよう頑張ります。（大阿久）		

授業科目	薬理学		
担当者名	佐藤 健太郎	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	2単位	時間数	30時間
授業科目の概要	薬物療法に必要な薬理学の基本的知識を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 薬の作用、薬物動態、薬物相互作用について説明する。 2. 薬効の個人差に影響する因子、薬物の有益性と危険性、薬と法律、物質としての薬物の分類について説明する。 3. 抗感染症薬について説明する。 4. 抗がん薬について説明する。 5. 免疫治療薬について説明する。 6. 抗アレルギー薬・抗炎症薬について説明する。 7. 末梢での神経活動に作用する薬物について説明する。 8. 中枢神経系に称する薬物について説明する。 9. 循環器系に作用する薬物について説明する。 10. 呼吸時・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物について説明する。 11. 物質代謝に作用する薬物について説明する。 12. 皮膚科用薬・眼科用薬、救急の際に使用される薬物について説明する。 13. 漢方薬・消毒薬について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】薬理学とは・薬剤師の役割		佐藤 健太郎
2	【講義】薬理学の基礎知識（薬の作用、薬物動態、薬物相互作用）		佐藤 健太郎
3	【講義】薬理学の基礎知識（薬効の個人差に影響する因子、薬物の有益性と危険性、薬と法律、物質としての薬物の分類）		佐藤 健太郎
4	【講義】抗感染症薬		佐藤 健太郎
5	【講義】抗がん薬		佐藤 健太郎
6	【講義】免疫治療薬		佐藤 健太郎
7	【講義】抗アレルギー薬・抗炎症薬		佐藤 健太郎
8	【講義】末梢での神経活動に作用する薬物		佐藤 健太郎
9	【講義】中枢神経系に作用する薬物		佐藤 健太郎
10	【講義】循環器系に作用する薬物		佐藤 健太郎
11	【講義】呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物		佐藤 健太郎
12	【講義】物質代謝に作用する薬物		佐藤 健太郎
13	【講義】皮膚科用薬・眼科用薬、救急の際に使用される薬物		佐藤 健太郎
14	【講義】漢方薬と消毒薬		佐藤 健太郎
15	【試験】筆記試験		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点100点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	疾病治療論Ⅰ		
担当者名	松村 啓	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学の知識を基に、機能障害を引き起こす疾患を理解し、回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 疾病の概念について説明する。 2. 呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 3. 循環器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】疾患の概念① ・正常と病気の状態・循環障害・細胞組織の障害		松村 啓
2	【講義】疾患の概念② 感染症・腫瘍・先天異常と遺伝子異常・老化と死・死の定義		松村 啓
3	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・呼吸器の構造と機能		松村 啓
4	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療② ・おもな症状 ・検査と処置		松村 啓
5	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解・肺炎・結核・気管支喘息		松村 啓
6	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・COPD・肺血栓塞栓症・ARDS		松村 啓
7	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・睡眠無呼吸症候群		松村 啓
8	【講義】呼吸器に関連した疾患と検査、診断、治療⑥ 疾患の理解 ・肺がん		松村 啓
9	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・循環器の構造と機能		松村 啓
10	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療② ・おもな症状 ・検査と治療		松村 啓
11	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・心不全・急性冠症候群		松村 啓
12	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・不整脈 ・心弁膜症		松村 啓
13	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・狭心症 ・動脈硬化		松村 啓
14	【講義】循環器に関連した疾患と検査、診断、治療⑥ 疾患の理解 ・大動脈瘤 ・静脈系疾患		松村 啓
15	試験		内部教員

テキスト	医学書院：人体の構造と機能〔1〕解剖生理学・疾病の成り立ちと回復の促進〔1〕病理学・成人看護学〔2〕呼吸器、〔3〕循環器		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点100点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	疾病治療論Ⅱ		
担当者名	松村 啓・久保 房子・門馬 良明	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学の知識を基に、機能障害を引き起こす疾患を理解し、回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶ。		
授業科目の到達目標	1. 消化器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 2. 腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 3. 女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・消化器の構造と機能 ・主な症状 ・検査と治療 疾患の理解・胃・十二指腸潰瘍		松村 啓
2	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・食道がん・胃がん		松村 啓
3	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解・潰瘍性大腸炎・クローン病・大腸がん		松村 啓
4	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・肝臓がん・肝炎、肝硬変症・胆石症		松村 啓
5	【講義】消化器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・胆管がん ・膵臓がん ・膵炎		松村 啓
6	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・腎泌尿器の構造と機能 ・主な症状 ・検査と治療		門馬 良明
7	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・急性糸球体腎炎・腎盂腎炎		門馬 良明
8	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解・慢性腎臓病・ネフローゼ症候群		門馬 良明
9	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・腎不全		門馬 良明
10	【講義】腎泌尿器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・膀胱がん・前立腺がん・男性性機能障害		門馬 良明
11	【講義】女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・女性生殖器の構造と機能 ・主な症状 ・検査と治療		久保 房子
12	【講義】女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・子宮筋腫・子宮内膜症		久保 房子
13	【講義】女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・子宮頸がん・子宮体がん		久保 房子
14	【講義】女性生殖器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・卵管の疾患・卵巣の疾患		久保 房子
15	試験		内部教員

テキスト	医学書院：人体の構造と機能〔1〕解剖生理学・成人看護学〔5〕消化器、〔8〕腎泌尿器〔9〕女性生殖器
参考書	
成績評価の方法	筆記試験100点(松村先生：40点、門馬先生40点、久保先生20点)
その他、受講生への要望など	腎臓泌尿器に関連した解剖生理を事前に学習してください。（門馬）

授業科目	疾病治療論Ⅲ		
担当者名	片岡 飛鳥	実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学の知識を基に、機能障害を引き起こす疾患を理解し、回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 2. 内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 3. 免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・血液の生理と造血の仕組み ・検査、治療		片岡 飛鳥
2	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・赤血球の異常 貧血		片岡 飛鳥
3	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・白血球の異常		片岡 飛鳥
4	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・造血器腫瘍 白血病 悪性リンパ書		片岡 飛鳥
5	【講義】血液・造血器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・出血性疾患 ITP 血友病		片岡 飛鳥
6	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・内分泌器官の構造と機能 ・検査、治療		片岡 飛鳥
7	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・下垂体疾患		片岡 飛鳥
8	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・糖尿病		片岡 飛鳥
9	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・バセドウ病・甲状腺機能低下症		片岡 飛鳥
10	【講義】内分泌・代謝に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・高尿酸血症・脂質異常症		片岡 飛鳥
11	【講義】免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴 ・免疫の仕組みとアレルギー ・検査、治療		片岡 飛鳥
12	【講義】免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・アレルギー アナフィラキシーショック		片岡 飛鳥
13	【講義】免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・膠原病		片岡 飛鳥
14	【講義】免疫・アレルギーに関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・自己免疫疾患		片岡 飛鳥
15	試験		内部教員

テキスト	医学書院：人体の構造と機能〔1〕解剖生理学・成人看護学〔4〕血液・造血器、〔11〕アレルギー 膠原病 感染症		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 100点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	疾病治療論Ⅳ		
担当者名	西川育利・門馬良明・倉地彩奈・長谷川泰弘・金子達 根麗子	関 実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	30時間
授業科目の概要	解剖生理学の知識を基に、機能障害を引き起こす疾患を理解し、回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 運動器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 2. 脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。 3. 感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴・運動器の構造と機能 ・症状・検査・治療		長谷川 泰弘
2	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解・骨折		長谷川 泰弘
3	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解・脊髄損傷		長谷川 泰弘
4	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解・変形性関節症		長谷川 泰弘
5	【講義】運動器に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解・関節リウマチ		長谷川 泰弘
6	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療① ・患者の特徴・脳神経の構造と機能 ・症状・検査・治療		門馬 良明
7	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療② 疾患の理解 ・くも膜下出血・脳内出血・脳梗塞、		門馬 良明
8	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療③ 疾患の理解 ・ギランバレー症候群・ALS・筋ジストロフィー・重症筋無力症		門馬 良明
9	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療④ 疾患の理解 ・パーキンソン病・てんかん・アルツハイマー病		門馬 良明
10	【講義】脳神経に関連した疾患と検査、診断、治療⑤ 疾患の理解 ・脳腫瘍、多発性硬化症、		門馬 良明
11	【講義】感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療（皮膚） 尋常性乾癬、熱傷、蜂窩織炎、带状疱疹		倉地 彩奈
12	【講義】感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療（眼） 白内障、緑内障、眼底の疾患		関根 麗子
13	【講義】感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療（耳鼻） 中耳炎、メニエール病、突発性難聴、喉頭がん、アレルギー性鼻炎、咽喉頭炎		金子 達
14	【講義】感覚器に関連した疾患と検査、診断、治療（歯） 齲蝕、歯肉炎、舌がん		西川 育利
15	試験		内部教員

テキスト	医学書院：人体の構造と機能〔1〕解剖生理学・成人看護学〔7〕脳・神経、〔10〕運動器、〔12〕皮膚、〔13〕眼、 〔14〕耳鼻咽喉、〔15〕歯・口腔		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験 配点100点(運動器：40点、脳神経：40点、皮膚：5点、耳鼻：5点、眼：5点、口：5点)		
その他、受講生への要望など	脳神経の機能について事前に勉強してください。（門馬） 人生で皮膚病にかからない人はいません。ぜひ「自分ごと」だと思ってイメージしながら学んでみてください。（倉地）		

授業科目	社会福祉Ⅰ		
担当者名	伊藤 典子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	少子高齢化社会を生きる社会人として、わが国の高齢者や児童、障害者等に対する社会福祉の仕組み（法・制度）と現状と合わせ、現在生じているさまざまな課題等について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 社会福祉における基本的な考え方について説明する。 2. 社会福祉制度やしくみについて説明する。 3. 現在の社会問題について社会福祉の観点から考察できる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】現代社会の変化		伊藤典子
2	【講義】社会保障・社会福祉の動向		伊藤典子
3	【講義】社会保障と社会福祉、社会福祉の歴史		伊藤典子
4	【講義】医療保障		伊藤典子
5	【講義】介護保障		伊藤典子
6	【講義】所得保障		伊藤典子
7	【講義】公的扶助		伊藤典子
8	【試験】		内部教員

テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度〔3〕社会保障・社会福祉 医学書院
参考書	社会保障入門 中央法規・社会保障＆関係法規2023 メディカ出版 他
成績評価の方法	筆記試験 配点100点
その他、受講生への要望など	授業前に予習をしておくとう理解しやすくなります。

授業科目	看護学概論		
担当者名	阿部 未映子	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	2単位	時間数	30時間
授業科目の概要	看護学概論は、看護の土台である基礎看護学に位置しています。「看護とは何か」「看護の対象である人間とはどのような存在なのか」といった、看護の基盤となる概念を学びます。そして、看護を学ぶ者としての基本となる姿勢・考え方を身に付け、意見交換をしながら看護の本質を考察します。		
授業科目の到達目標	1. 看護の原点と看護の本質について学び、看護の理念について説明できる 2. 人間 環境 健康 看護の概念とそれぞれの相互関係について説明できる 3. 看護の歴史の変遷が分かり、現在の看護を取り巻く社会の動向が説明できる 4. 看護者としての職業倫理を理解し、自覚と責任を持つ姿勢を養う 5. 看護実践に携わる職業の成り立ちと法制度について説明できる 6. 広がる看護の役割、活動領域について考える 7. 自分の考えをまとめ相手に分かるように発表できる		

回数	内容・方法	課題	担当
1 2	【講義・KJ法】看護とは 1. 看護の原点 2. 看護の定義 3. 社会が求める看護師とは 4. 患者中心の看護とは（DAD視聴）	事後レポート【10点】：「目指す看護師像」	阿部 未映子
3	【講義】看護の歴史 変遷 1. 古代・中世・近代・現代における看護		阿部 未映子
4	【講義】看護の対象理解① 1. 人間とは 2. 人間のこころとからだを知る		阿部 未映子
5	【講義】看護の対象理解② 1. 人間にとっての健康とは 2. 障害とは何か		阿部 未映子
6	【講義・GW】看護の目的① 1. 看護実践活動の基盤となる理論 2. ナイチンゲール「看護覚え書」の読み取り ナイチンゲールの功績とナイチンゲールの看護の定義 3. グループでまとめる	グループ事前レポート【10点】：看護覚え書まとめ	阿部 未映子
7	【講義・GW】看護の目的② 1. グループごとに発表 2. ナイチンゲールが捉えた看護とは	事後レポート【10点】：看護覚え書から読み解く看護とは	阿部 未映子
8	【講義】看護理論 ・看護理論について		阿部 未映子
9	【講義・GW】看護の目的③ 1. ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」 2. ヘンダーソンが捉えた看護とは 3. ヘンダーソンの基本的欲求14項目 充足・未充足とは	事前レポート【10点】：看護の基本となるものまとめ	阿部 未映子
10	【講義】看護を提供する仕組み 1. 看護制度 2. 看護行政 3. 看護の役割 4. 広がる看護		阿部 未映子 (特定行為・認定看護師)
11・12	【講義・GW】看護における倫理 1. 倫理を学ぶ意義 2. 看護倫理とは 3. 倫理的問題への取り組み インフォームドコンセント 4. 事例から倫理的問題を考える	事後レポート【10点】：グループワークを通しの学び	阿部 未映子
13	【講義】医療安全 1. 看護に関する法律 2. 看護業務の特性と医療事故 3. 看護学生ができること	事後レポート【10点】：看護学生ができること	阿部 未映子
14	【講義】保健医療福祉システムと多職種連携 1. 保健医療福祉の変遷 2. 保健医療福祉システム 3. 多職種チームとの連携・協働、情報の伝達、共有		阿部 未映子
15	【試験】筆記試験		阿部 未映子

テキスト	新体系 看護学全書 基礎看護学① 看護学概論 メヂカルフレンド社 ナイチンゲールの看護覚え書 イラスト・図解でよくわかる！ 西東社 看護の基本となるもの 湯横ます他 日本看護協会出版会 よくわかる 看護職の倫理綱領 第3版 照林社
参考書	必要時提示する。
成績評価の方法	筆記試験：40点 ・課題レポート：60点
その他、受講生への要望など	本学科は今後の専門基礎科目「基礎看護技術」「基礎看護学実習」の前提条件となります。 事前・事後課題は必ず取り組んでください。またグループ活動においては自分の役割を主体的に見つけて行動することを期待します。

授業科目	看護の基本技術Ⅰ		
担当者名	瀬畑 仁美・秋澤 きみよ	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、看護技術とはなにかを考えるとともに、コミュニケーション、感染予防、安全・安楽な生活環境を調整する基本的技術に焦点をあて学習する。		
授業科目の到達目標	1. 看護技術とは何かがわかる。 2. 看護における相互作用とコミュニケーションの意義を理解し、効果的なコミュニケーションのための知識・技術・態度を説明する。 3. 感染標準予防策の基礎知識を理解し、正しく実践する。 4. 環境整備の基礎知識を理解し、安全・安楽な病床環境を調整する。 5. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 1) 看護技術とはなにか 2) 看護技術の質 3) 看護技術における倫理	事後：レポート課題	瀬畑 仁美
2	【講義】 コミュニケーション 1) コミュニケーションとは 2) 看護とコミュニケーション	事前：基礎看護技術Ⅰ P163～199を精読する。	瀬畑 仁美
3	【講義・演習】 コミュニケーション 3) 医療における信頼関係とコミュニケーション 4) 疾患に伴ったコミュニケーション障害がある人への対応	事後：レポート課題	瀬畑 仁美
4	【講義】 感染防止の技術① 1) 感染とその予防の基礎知識 2) スタンダードプリコーション 3) 感染経路別予防策 4) 感染性廃棄物の取り扱い		秋澤 きみよ
5	【演習】 感染防止の技術② 1) 手洗い 2) 個人防護具の着脱		秋澤 きみよ
6	【講義】 環境調整①		秋澤 きみよ
7	【演習】 環境調整② 1) 快適な療養環境の整備 2) 安全な療養環境の整備		秋澤 きみよ
8	【演習】 環境調整③ 1) 快適な療養環境の整備 2) 安全な療養環境の整備		秋澤 きみよ

テキスト	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② メデカルフレンド社
参考書	
成績評価の方法	瀬畑：40点（レポート20点・筆記20点）、秋澤：60点（ 課題レポートは、講義終了後に記載し指定された日時までに提出する。提出期限が過ぎた場合は、評価の対象とならない。
その他、受講生への要望など	始講までに各自フラットファイルを準備し、看護の基本技術Ⅰの資料を全て綴るようにしてください。

授業科目	看護の基本技術Ⅱ		
担当者名	大垣 芳之・小堀 明美	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、安全・安楽な生活行動（活動・休息）を調整する基本的技術に焦点をあて学習する。		
授業科目の到達目標	1. 活動・休息の基礎知識を理解し、適切に実践する。 2. ベッドメイキング・リネン交換の基礎知識を理解し、適切に実践する。 3. バイタルサインの測定を正確に行う。 4. 体温調節の援助を理解し、適切に実践する。 5. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】活動と休息①		大垣 芳之
2	【演習】活動と休息② 1) 歩行・移動介助 2) 車いす移乗・移送 3) ストレッチャー移送 4) 体位変換・保持		大垣 芳之
3	【演習】活動と休息③ 1) 歩行・移動介助 2) 車いす移乗・移送 3) ストレッチャー移送 4) 体位変換・保持		大垣 芳之
4	【講義】ベッドメイキング①		大垣 芳之
5	【演習】ベッドメイキング②		大垣 芳之
6	【演習】ベッドメイキング③		大垣 芳之
7	【講義】臥床患者のリネン交換①		大垣 芳之
8	【演習】臥床患者のリネン交換②		大垣 芳之
9	【演習】臥床患者のリネン交換③		大垣 芳之
10	【講義】バイタルサイン① 1)バイタルサインの意義・目的 2) 体温・脈拍・血圧・呼吸・意識状態のアセスメント		小堀 明美
11	【演習】バイタルサイン② 1) 測定器具の使用方法 2) 測定方法 3) 測定値の記録・報告方法	教科書動画視聴 ワークシート	小堀 明美
12	【演習】バイタルサイン③ 1)バイタルサインの測定 【講義】まとめ	ポストテスト 振り返りシート	小堀 明美
13	【講義】体温調節の援助①		大垣 芳之
14	【演習】体温調節の援助② 1) 冷電法 2) 温電法		大垣 芳之
15	【 終講試験】		

テキスト	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② メヂカルフレンド社		
参考書			
成績評価の方法	大垣芳之：70点 小堀明美：30点		
その他、受講生への要望など			

授業科目	看護の基本技術Ⅲ		
担当者名	渡邊 美紀子	実務経験	○
年次	1 年次	学期	前期
単位	1 単位	時間数	3 0 時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を 解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、清潔援助の基本的技術に焦点をあて学習する。		
授業科目の到達目標	1. 清潔援助の基礎知識を理解し、演習で行う。（適切に実践する） 2. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】寝衣交換①		渡邊 美紀子
2	【演習】寝衣交換②		渡邊 美紀子
3	【演習】寝衣交換③		渡邊 美紀子
4	【講義】清拭① ※陰部の保清に陰部洗浄含む		渡邊 美紀子
5	【演習】清拭②		渡邊 美紀子
6	【演習】清拭③		渡邊 美紀子
7	【演習】清拭④		渡邊 美紀子
8	【講義】手浴・足浴①		渡邊 美紀子
9	【演習】手浴・足浴②		渡邊 美紀子
10	【講義】おむつ交換		渡邊 美紀子
11	【演習】おむつ交換		渡邊 美紀子
12	【講義】洗髪/整容		渡邊 美紀子
13	【演習】洗髪		渡邊 美紀子
14	【演習】洗髪		渡邊 美紀子
15	【終講試験】		渡邊 美紀子

テキスト	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ基礎看護学③ メヂカルフレンド社		
参考書			
成績評価の方法			
その他、受講生への要望など			

授業科目	看護の基本技術Ⅳ		
担当者名	星 有希子	実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	3 0 時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を 解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、食事・排泄援助の基本的技術に焦点をあて学修する。		
授業科目の到達目標	1. 食事援助技術の基礎知識を理解し、適切に実践する。 2. 排泄援助技術の基礎知識を理解し、適切に実践する。 3. 自然な排泄が困難な患者に対し、基礎知識を説明し技術を実践する。 4. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】食事援助の基礎知識 1) 食事、栄養補給、水分補給の意義 2) 栄養状態のアセスメント 3) 食事摂取の介助①		星 有希子
2	【演習】食事摂取の介助②		星 有希子
3	【講義】口腔ケア援助の方法とアセスメント		星 有希子
4	【演習】口腔ケア		星 有希子
5	【講義】経管栄養（経鼻胃チューブの挿入・経管栄養法による流動食の注入）①		星 有希子
6	【演習】経管栄養（経鼻胃チューブの挿入・経管栄養法による流動食の注入）② 【講義】まとめ		星 有希子
7	【講義】排泄の援助技術① 1) 排泄器官と機能、メカニズム 2) 排泄のアセスメント 3) 尿器・便器・ポータブルトイレ介助		星 有希子
8	【演習】排泄介助① 1) 尿器・便器 2) ポータブルトイレ介助		星 有希子
9	【演習】排泄介助② 1) 尿器・便器 2) ポータブルトイレ介助		星 有希子
10	【演習】浣腸① グリセリン浣腸		星 有希子
11	【演習】浣腸② グリセリン浣腸		星 有希子
12	【講義】導尿① 導尿（一時的導尿）		星 有希子
13	【演習】導尿② 導尿（一時的導尿）		星 有希子
14	【演習】導尿③ 導尿（一時的導尿）・持続的導尿 【講義】まとめ		星 有希子
15	【終講試験】		星 有希子

テキスト	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学③ メヂカルフレンド社
参考書	
成績評価の方法	ポストテスト・課題ワークシート・筆記試験
その他、受講生への要望など	・基礎看護技術Ⅰ～Ⅲの知識・技術を基盤に、臨床でよく行われる技術について学習します。安全・安楽に行うための基本的な知識・技術・態度を身につけ、今後の看護技術につながるように学びましょう。 事前学習をしたうえで演習に臨み、気づきや疑問点をグループメンバーと共にディスカッションし、教員に質問しながら学ぶアクティブラーニング型の学習システムで実施します。

授業科目	看護の基本技術Ⅴ		
担当者名	金泉 詳子・星 有希子	実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	3 0 時間
授業科目の概要	本科目では、診療の補助にかかわる看護の基本技術について医療安全の視点から理解し、治療や検査を受けながら生活している対象の日常生活行動を理解する。本科目では科学的根拠に基づいた基本となる診療の補助技術を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 感染予防の基礎知識を理解し、正確に実践する。 2. 呼吸を安楽にする技術を実践する。 3. 薬物療法の基礎知識を理解し、安全で安楽な点滴・注射を実践する。 4. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 感染防止の技術 洗浄・消毒・滅菌 【演習】 無菌操作① ・滅菌手袋の装着 ・滅菌ガウンの着用 ガウンテクニック		金泉 詳子
2	【演習】 無菌操作② 滅菌物の取り扱い 感染性廃棄物の取り扱い 【講義】 医療施設における感染管理		金泉 詳子
3	【講義】 創傷処置 創部の消毒 清潔操作の方法 創部の保護 ・縫合、創洗浄		金泉 詳子
4	【演習】 創傷処置 創部の消毒 清潔操作の方法 創部の保護 創保護 包帯法 【講義】 まとめ		金泉 詳子
5	【講義】 呼吸・循環を整える技術① ・酸素療法 酸素吸入 中央配管方式、酸素ボンベ法 ・排痰ケア ネブライザー・口腔内、鼻腔内吸引、気管内吸引 ・体位ドレナージ		金泉 詳子
6	【演習】 呼吸・循環を整える技術① ・酸素療法 酸素吸入 中央配管方式、酸素ボンベ法 ・排痰ケア ネブライザー・口腔内、鼻腔内吸引、気管内吸引 ・体位ドレナージ 【まとめ】		金泉 詳子
7	【講義】 与薬の技術① 1) 与薬に関する基礎知識		星 有希子
8	【講義】 与薬の技術② 1) 薬剤等の管理（毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤・抗悪性腫瘍薬）・経口薬 2) 薬剤の投与方法、留意点 3) 医療安全		星 有希子
9	【演習】 与薬の技術③ 皮下注射		星 有希子
10	【演習】 与薬の技術④ 皮下注射		星 有希子
11	【演習】 与薬の技術⑤ 筋肉注射		星 有希子
12	【演習】 与薬の技術⑥ 筋肉注射		星 有希子
13	【講義】 与薬の技術⑦ 1) 点滴静脈内点滴の管理 2) 人体へのリスクの大きい薬剤のばく露予防策		星 有希子
14	【演習】 与薬の技術⑦ 1) 点滴静脈内点滴の管理		星 有希子
15	【終講試験】		星 有希子

テキスト	新系統 看護学全書 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② メヂカルフレンド社
参考書	
成績評価の方法	金泉 詳子：50点 星 有希子：50点
その他、受講生への要望など	

授業科目	看護の基本技術VI		
担当者名	星 有希子	実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期
単位	2 単位	時間数	3 0 時間
授業科目の概要	看護過程とは、健康上支援を必要とする対象との相互作用に基づき、看護上の問題を解決する過程である。アセスメント・看護問題の成文化・計画立案・実施・評価、これらの5つプロセスを学ぶことで、根拠ある看護を実践する方法を学習する。		
授業科目の到達目標	1. 看護過程の意義と構成要素および展開方法が理解できる。 2. 対象の状態を把握するために必要な情報は何か説明できる。 3. 対象の状態をデーターを踏まえて、アセスメント（情報の分析・解釈）できる。 4. アセスメントから看護問題を抽出し、安全、安楽、自立に配慮した計画を立案することができる。 5. 自己のアセスメントや立案した計画を評価する方法がわかる。 6. 十分な証拠が得られるまで、自分の判断に疑問を持ち続け、文献を活用しながら様々な視点で考えることができる。		

回数	内容	内容の詳細と方法	課題	担当
事前課題（夏休み）：1. LTD課題文～プロフェッショナリズム教育が目指すもの～ 2. 事前学習（関連図含む）				
1	【LTD・講義】～看護過程と臨床判断～ ①看護とは何か ②なぜ看護過程が必要なのか ③臨床判断			星有希子
2	【講義】看護過程の構成要素1 ①アセスメント（情報収集と分析・解釈） ②看護問題の成文化（表現方法と優先順位）			星有希子
3	【講義】看護過程の構成要素2 ①看護問題の成文化（共同問題・看護診断） ②看護計画の立案 ・目標設定のポイント ・具体策立案のポイント			星有希子
4	【講義】看護過程の構成要素3 ①実施 ②評価			星有希子
5	【講義】ヘンダーソンの看護論 ・記録用紙について ・事例紹介			星有希子
6	【講義】事例展開 ・データーベース解説 ・病態関連図			星有希子
7	【講義・GW】事例展開 ・アセスメント「J」			星有希子
8	【講義・GW】事例展開 ・アセスメント「J」 ・1 4 項目アセスメント			星有希子
9	【演習】事例展開			星有希子
10	【演習】事例展開			星有希子
11	【演習】事例展開			星有希子
12	【演習】事例展開			星有希子
13	【講義】事例展開 ・看護計画立案 ・実施・評価（SOAP）			星有希子
14	【演習】事例展開 ・看護計画立案			星有希子
15	【演習・GW】事例展開 ・看護計画立案 ・まとめ			星有希子

テキスト	新体系看護学全書 基礎看護学Ⅰ メデカルフレンド社		
参考書	看護過程を使った ヘンダーソン看護論の実践 ノーヴェルヒロカワ		
成績評価の方法	レポート課題、ポストテスト		
その他、受講生への要望など	臨地実習で実践する看護過程の展開方法を学びます。事前課題、事後課題に取り組みながら授業に臨んで下さい。（2単位30時間の講義なので、課題は多いです）		

授業科目	フィジカルアセスメント		
担当者名	小堀 明美	実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	1 5 時間
授業科目の概要	本科目では、対象の健康問題を把握するために必要な技術であるフィジカルアセスメントについて学修する。 各発達段階の特徴を理解し、人体の構造と機能に基づく系統的フィジカルイグザミネーションについてシミュレーターや学生同士で演習を行い学修する。さらに、フィジカルイグザミネーションを通して得た情報を分析し、対象の状態を判断・予測する過程を学修する。		
授業科目の到達目標	1. フィジカルアセスメントの意義と目的を説明する。 2. フィジカルアセスメントに必要な共通技術（問診、視診、聴診、触診、打診）を説明する。 3. 器官系統別のフィジカルイグザミネーションを実施する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】オリエンテーション・医療面接・身体診察（視診、触診、聴診、打診）	教科書の動画視聴 ワークシート ポストテスト	小堀 明美
2	【講義・演習】身体計測の基本	教科書の動画視聴 ワークシート ポストテスト	小堀 明美
3	【講義・演習】呼吸器系のフィジカルアセスメント 呼吸機能の仕組みとアセスメント技術 呼吸音の聴取	教科書の動画視聴 ワークシート ポストテスト	小堀 明美
4	【講義・演習】循環器系のフィジカルアセスメント 循環機能の仕組みとアセスメント技術 心音の聴取	教科書の動画視聴 ワークシート ポストテスト	小堀 明美
5	【講義・演習】感覚器・脳神経系のフィジカルアセスメント	教科書の動画視聴 ワークシート ポストテスト	小堀 明美
6	【講義・演習】筋骨格系のフィジカルアセスメント	教科書の動画視聴 ワークシート ポストテスト	小堀 明美
7	【講義・演習】栄養状態の評価 外皮・粘膜のフィジカルアセスメント	教科書の動画視聴 ワークシート ポストテスト	小堀 明美
8	【講義・演習】腹部のフィジカルアセスメント 事例を用いて、腹部消化機能のアセスメント	教科書の動画視聴 ワークシート ポストテスト	小堀 明美

テキスト	基礎看護技術Ⅰ（基礎看護学②）メヂカルフレンド社		
参考書	バイタルサイン・フィジカルアセスメント（プチナースBOOKS）照林社		
成績評価の方法	課題ワークシート点、ポストテスト点、技術テスト 点		
その他、受講生への要望など	フィジカルアセスメントは、患者の身体状況を理解し、臨地実習時には必ず実施する重要な技術です。「正常」「正常から逸脱した状態」を根拠に基づいて判断できるようになるための知識・技術・態度を習得しましょう。 ・「自己学習-グループ学習」を中心とし、事前学習をしたうえで演習に臨み、気づきや疑問点をグループメンバーと共にディスカッションし、教員に質問しながら学ぶアクティブラーニング型の学習システムです。		

授業科目	基礎看護学実習Ⅰ（地域で暮らす人々とのコミュニケーション実習）		
担当者名	星 有希子	実務経験	○
年次	1 年次	学期	前期（5 月）
単位	1 単位	時間数	3 0 時間（6 時間×5 日）
授業科目の概要	対象と関係を構築するためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。		
授業科目の到達目標	1. 施設の概要がわかる。 2. 対象に合わせたコミュニケーションの方法を説明する。 3. 対象の反応を捉え、対象を尊重したコミュニケーションがとれる。 4. 対象とコミュニケーションを振り返り、よりよい方法を考察する。 5. 看護学生としてふさわしい態度で実習に臨み、積極的に行動する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【学内】：オリエンテーション、事前学習	実習要項に準じる	星 有希子
2	【施設】：施設のオリエンテーション、 スタッフと対象とのコミュニケーションの場面の見学	実習要項に準じる	星 有希子
3	【施設】：対象者とのコミュニケーション、	実習要項に準じる	星 有希子
4	【施設】：対象者とのコミュニケーション、振り返り（実習での学び）	実習要項に準じる	星 有希子
5	【学内】：実習報告会	実習要項に準じる	星 有希子

テキスト	特に指定しない
参考書	臨地実習ガイド
成績評価の方法	実習評価表に準じる
その他、受講生への 要望など	看護学実習は、それまでに学んだことを看護実践（体験）をとおして理解する科目です。基礎看護学実習Ⅰは、看護学生として初めて行う実習です。対象者とのかかわりを通して、コミュニケーションについて学びましょう。実習において看護学生として必要な倫理的態度について理解し行動しましょう。

授業科目	基礎看護実習Ⅱ（患者とのコミュニケーション実習）		
担当者名	星 有希子	実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期（9 月）
単位	1 単位	時間数	3 0 時間（6 時間×5 日）
授業科目の概要	実習施設の特徴や患者のおかれている療養環境を知る。また、基本的な知識と技術を学習し、日常生活援助を実践するために基礎的能力を養う。		
授業科目の到達目標	1. 病院の機能や従事する医療者の職種と役割について理解する。 2. 看護活動の場と看護援助の実際がわかる。 3. 対象の生活の場として環境を理解する。 4. 基本的な知識と技術を活用し、対象への援助を実践できる。 5. 看護学生としての自覚と責任を持ち行動できる。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【学内】オリエンテーション、事前学習、技術練習	実習要項に準じる	星 有希子
2	【病院】病院・病棟オリエンテーション、多職種・看護師が働く場の見学 病院・病棟の療養環境観察	実習要項に準じる	星 有希子
3	【病棟】看護師の援助やコミュニケーションの場面見学（かるがも実習） 受け持ち患者とのコミュニケーション	実習要項に準じる	星 有希子
4	【病棟】受け持ち患者とのコミュニケーション 受け持ち患者への日常生活援助の実施	実習要項に準じる	星 有希子
5	【学内】実習報告会	実習要項に準じる	星 有希子

テキスト	特に指定しない		
参考書			
成績評価の方法	実習評価表に準じる		
その他、受講生への要望など	健康障害を持つ対象とのかかわる初めての实習です。療養環境が対象にどのような影響を及ぼすのか考えていきましょう。既習の看護技術をつかって受け持ち患者に援助も行います。事前の学習や練習を行い臨みましょう。実習期間が短いので、心身の自己管理に努め欠席することのないように臨んでください。		

授業科目	看護の基本技術Ⅲ		
担当者名	渡邊 美紀子	実務経験	○
年次	1 年次	学期	前期
単位	1 単位	時間数	3 0 時間
授業科目の概要	看護技術とは、看護の問題を 解決するために、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技である。対象に応じた看護を行うためには、看護技術の"原理・原則"を理解することが重要となる。本科目では、清潔援助の基本的技術に焦点をあて学習する。		
授業科目の到達目標	1. 清潔の意義とその援助の目的を説明できる。 2. 皮膚・粘膜のしくみと清潔のアセスメントのポイントをまとめられる。 3. 衣生活の意義を理解し、患者の寝衣交換の方法を演習を行える。 4. 全身清拭の意義を理解し、患者の全身清拭の方法を演習で行える 5. 手浴、足浴の意義を理解し、患者の手浴、足浴の方法を演習で行える。 6. 陰部洗浄の意義を理解し、便器を使った陰部洗浄を演習で行える。 7. おむつ交換の意義を理解し、患者のおむつ交換を演習で行える。 8. 洗髪、整容の意義を理解し、患者の洗髪、整容の演習を行える。 9. 事前学習を行い演習に臨み、自己の技術を振り返る。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】寝衣交換① 清潔援助の目的 皮膚構造、衣生活の意義、寝衣交換の目的と根拠	事前学習	渡邊 美紀子
2	【演習】寝衣交換② 浴衣への寝衣交換		渡邊 美紀子
3	【演習】寝衣交換② 浴衣への寝衣交換	振り返りシート	渡邊 美紀子
4	【講義】清拭① 全身清拭の意義 全身清拭の方法 タオルも持ち方 タオルの絞り方 使用物品の説明 清拭のデモンストレーション	事前学習	渡邊 美紀子
5	【演習】清拭② 清拭		渡邊 美紀子
6	【演習】清拭③ 清拭	振り返りシート	渡邊 美紀子
7	【講義】陰部洗浄、おむつ交換 陰部洗浄、おむつ交換の目的と根拠 アセスメント 方法	事前学習	渡邊 美紀子
8	【演習】陰部洗浄、おむつ交換		渡邊 美紀子
9	【演習】陰部洗浄、おむつ交換	振り返りシート	渡邊 美紀子
10	【講義】手浴・足浴① 手浴、足浴の意義、方法	事前学習	渡邊 美紀子
11	【演習】手浴・足浴②	振り返りシート	渡邊 美紀子
12	【講義】洗髪/整容 洗髪、整容の意義 方法	事前学習	渡邊 美紀子
13	【演習】洗髪		渡邊 美紀子
14	【演習】洗髪	振り返りシート	渡邊 美紀子
15	【終講試験】筆記試験 実技試験		渡邊 美紀子

テキスト	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ基礎看護学③ メヂカルフレンド社
参考書	根拠と事故防止からみた基礎、臨床看護技術 医学書院
成績評価の方法	筆記試験配点：60点 実技試験配点：30点 レポート配点：10点
その他、受講生への要望など	清潔ケアとは看護の基本となるケアです。知識、技術とはもちろんのこと、患者様の立場たって考え行えるケアを学んでいきましょう。グループワークを積極的に行っていきます。

授業科目	地域・在宅看護概論		
担当者名	秋澤きみよ	実務経験	○
年次	1年次	学期	前期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	看護の対象を生活者として理解し看護の実践につなげていくためには、まず人々の暮らしおよび暮らしの基盤である地域について学ぶ必要がある。そこでこの科目では、暮らしとはなにか、暮らしと健康、地域特性と健康について学修する。		
授業科目の到達目標	1. 看護の対象を生活者として理解し、その暮らしと健康の関係について説明する。 2. それぞれの地域は様々な特徴をもつことを学び、地域のとらえ方を理解する。 3. 地域・在宅看護とはどのような看護か、また求められる役割について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】人々の暮らしの理解	事前課題	秋澤 きみよ
2	【講義・演習】暮らしの基盤としての地域の理解	事前課題	秋澤 きみよ
3	【講義・演習】フィールドワーク	事前課題	秋澤 きみよ
4	【講義・演習】フィールドワーク	事前課題	秋澤 きみよ
5	【講義・演習】フィールドワーク	事前課題	秋澤 きみよ
6	【講義・演習】フィールドワーク	事前課題	秋澤 きみよ
7	【講義・演習】プレゼンテーション準備	事前課題	秋澤 きみよ
8	【講義・演習】プレゼンテーション・振り返り	事後課題	秋澤 きみよ

テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕地域・在宅看護の基盤（第1章） 医学書院		
参考書	基礎からわかる地域・在宅看護論 プチナース 照林社		
成績評価の方法	課題（90％） グループワーク・態度（10％） 課題については指定された期日に提出されない場合、0点となります。		
その他、受講生への要望など	入学して間もないのでグループワークに戸惑いもあるかもしれませんが、お互い協力し合いながら主体的・積極的に取り組んでほしいと思います。		

授業科目	地域・在宅看護支援論Ⅰ		
担当者名	秋澤 きみよ NPO法人サロン みんなの保健室 渡邊 カヨ子 社会福祉法人ふれあいコープ 竹内 明子 宇都宮市出前講座	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	暮らしの基盤としての地域、地域・在宅看護の対象者の各ライフステージの特徴とその多様性を理解し、地域における暮らしを支える看護について学ぶ。		
授業科目の到達目標	1. 地域・在宅看護概論で学修した人々の暮らしや地域の理解を踏まえ、地域包括ケアシステム、地域共生社会について説明する。 2. 地域でどのような自助・互助・共助・公助が行われているかを説明する。 3. 地域・在宅看護の対象者の各ライフステージの特徴とその多様性を理解し、ライフステージに応じた看護の役割を説明する。 4. 地域・在宅看護の対象者は様々な健康レベルにあることを説明する。 5. 地域・在宅看護の対象である家族について説明する。 6. 地域に暮らす人々とその家族の多様な健康ニーズと、看護の役割を説明する。 7. 暮らしにおける環境の重要性や意味を理解し、環境を整える地域・在宅看護の役割を説明する。 8. 暮らしの中にあるリスクについて理解し、災害対策における地域・在宅看護の役割を説明する。 9. さまざまな暮らしの場における看護の役割と活動について説明する。 10. さまざまな暮らしの場における多職種とその役割を理解し、多職種と連携・協働するなかで、看護師に求められる役割を考える。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】暮らしの基盤としての地域の理解 暮らしと地域、暮らしと地域を理解するための考え方		秋澤 きみよ
2	【講義・演習】地域・在宅看護の対象の理解 地域に暮らす人々 健康レベルの多様性		秋澤 きみよ
3	【講義・演習】地域・在宅看護の対象の理解 ライフステージからみる対象		秋澤 きみよ
4	【講義・演習】地域・在宅看護の対象の理解 家族システム		秋澤 きみよ
5	【講義・演習】暮らしを支える仕組みの理解 地域包括ケアシステムと地域共生社会		秋澤 きみよ
6	【講義・演習】暮らしを支える仕組みの理解 地域包括ケアシステムと地域共生社会		秋澤 きみよ
7	【講義・演習】暮らしを支える仕組みの理解 地域包括ケアシステムと地域共生社会（活動の実際）		NPO法人サロン みんなの保健室 渡邊 カヨ子
8	【講義・演習】暮らしを支える仕組みの理解 地域包括ケアシステムと地域共生社会（活動の実際）		社会福祉法人 ふれあいコープ 竹内 明子
9	【講義・演習】暮らしを支える仕組みの理解 地域包括ケアシステムと地域共生社会		秋澤 きみよ
10	【講義・演習】地域での暮らしにおける災害対策 宇都宮市の防災、マイタイムラインでの避難の作戦づくり		宇都宮市 出前講座
11	【講義・演習】地域での暮らしにおける災害対策		秋澤 きみよ
12	【演習】地域での暮らしにおける災害対策		秋澤 きみよ
13	【演習】地域での暮らしにおける災害対策		秋澤 きみよ
14	【演習】地域での暮らしにおける災害対策		秋澤 きみよ
15	【試験】		秋澤 きみよ

テキスト	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 〔1〕地域・在宅看護の基盤（第2章～5章）医学書院
参考書	基礎からわかる地域・在宅看護論 プチナース 照林社 国民衛生の動向・厚生指針 一般財団法人 厚生労働統計協会
成績評価の方法	筆記試験（60％） 課題レポート（40％）
その他、受講生への要望など	実際に地域・在宅で働かれている外部講師をお招きしての講義・演習があります。対象の方との関わりをよく学習して欲しいと思います。

授業科目	成人看護概論		
担当者名	金泉 詳子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	成人とその家族を対象とし、健康を維持・促進するための看護支援の基本となる知識を学修する。		
授業科目の到達目標	1. 発達段階や生活などの様々な側面から成人を説明する。 2. 成人のヘルスプロモーションを説明する。 3. 成人の急性期・回復期・慢性期・終末期の特徴と看護支援を説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】オリエンテーション 成人の理解：発達段階の特徴、	テキストの該当部分 を読んでくる	金泉 詳子
2	【講義・演習】成人の理解：成人の特徴（生活）、生活と健康	テキストの該当部分 を読んでくる	金泉 詳子
3	【講義・演習】成人への看護支援：アンドラゴジー、エンパワメント、自己効力感	テキストの該当部分 を読んでくる	金泉 詳子
4	【講義・演習】成人への看護支援：集団への看護アプローチ、意思決定支援、倫理的課題	テキストの該当部分 を読んでくる	金泉 詳子
5	【講義・演習】成人のヘルスプロモーションと看護	テキストの該当部分 を読んでくる	金泉 詳子
6	【講義・演習】急性期・回復期（リハビリテーション期）・慢性期・終末期にある成人とその家族を支援する看護	テキストの該当部分 を読んでくる	金泉 詳子
7	【講義・演習】緩和ケア	テキストの該当部分 を読んでくる	金泉 詳子
8	試験		金泉 詳子

テキスト	医学書院 系統看護学講座 成人看護学総論
参考書	必要時随時提示する
成績評価の方法	筆記試験（80％）、演習の成果物・レポート・ポストテストなど（20％）
その他、受講生への要望など	演習では、事前学習で自分の意見をまとめておき、積極的にグループワークに参加してください。

授業科目	老年看護概論		
担当者名	瀬畑仁美・諏訪陽子・北岡吉民・千嶋 巖	実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	30時間
授業科目の概要	老年看護の対象である高齢者を理解するために、加齢変化の特徴や高齢者を取り巻く環境、老年期における倫理的課題について学習し、老年看護への関心を高める。また、高齢者に多くみられる主要な症候・疾患および、治療の場から療養生活の場、エンドオブライフケアまで、幅広い視野をもって看護を考える。		
授業科目の到達目標	1. 高齢者を取り巻く環境について説明する。 2. 加齢に伴う身体的、心理・社会的側面の変化を説明する。 3. 高齢者に関連する社会制度について説明する。 4. 多様な場で展開する高齢者への看護を説明する。 5. 自らの高齢者観や倫理観を振り返り、考察できる。 6. 高齢者のヘルスプロモーションについて説明する。 7. 老年症候群および高齢者に特有な症候・疾患について説明する。 8. 高齢者の在宅医療とエンドオブライフケアについて説明する 9. 老年看護の役割について、自分の言葉で説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】 老年期の発達と変化 ・加齢と老化 ・高齢者の定義	事後レポート：自己の高齢者観	瀬畑仁美
2	【講義】 超高齢社会の統計的輪郭		瀬畑仁美
3	【演習】 高齢者疑似体験	事後レポート：高齢者体験をとおしての振り返りレポートを記入し提出する。	瀬畑仁美
4	【講義】 加齢に伴う身体的側面の変化	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
5	【講義】 加齢に伴う身体的側面の変化	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
6	【講義】 加齢に伴う心理・社会的側面の変化 ・老年期の発達課題	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
7	【講義】 介護保険制度	事前：課題レポート	瀬畑仁美
8	【講義】 多様な場で生活する高齢者を支える看護	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
9	【講義】 高齢者に特有な症候の看護	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	瀬畑仁美
10	【講義・演習】 高齢者の権利擁護 ・高齢者虐待 ・安全確保と身体拘束	事後レポート：身体拘束	瀬畑仁美
11	【講義】 高齢者とヘルスプロモーション	事前：講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	諏訪陽子
12	【講義】 高齢者に特有な症候・疾患 ・老年症候群 ・高齢者に特有な疾患 呼吸器系の疾患（高齢者肺炎・結核） 運動器の疾患（大腿骨頸部骨折・変形性関節症・骨粗鬆症）	事前：老年看護病態・疾患論P40～43、P167～172、P212～222を精読し不明な点、疑問点を明らかにしておく。	千嶋巖
13	【講義】 高齢者医療の課題と重要性、高齢者の在宅医療とエンドオブライフケア	事前：老年看護病態・疾患論P3～13、282～286を精読し、不明な点、疑問点を明らかにしておく。	北岡吉民
14	【講義】 老年看護の基本と役割	事前：老年看護学P71～82を精読する。 事後レポート：私が考える老年看護の役割	瀬畑仁美
15	【試験】		瀬畑仁美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
参考書			
成績評価の方法	筆記試験：配点80点、課題レポート：配点20点 瀬畑：70点（レポート20点・筆記50点）、諏訪：筆記10点、北岡：筆記5点、千嶋：筆記15点 レポート課題については指定された期日に提出されない場合、0点となります。		
その他、受講生への要望など	高齢者や高齢者を取り巻く環境に興味・関心をもち、幅広い視野をもって老年看護の役割を考えられるようになることを期待します。始講までに各自フラットファイルを準備し、老年看護概論の資料を全て綴るようにしてください。なお、資料は老年看護学実習Ⅰの事前学習となります。		

授業科目	老年看護学実習Ⅰ		
担当者名	瀬畑仁美	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期（12月）
単位	1単位	時間数	30時間
授業科目の概要	介護老人保健施設を利用している高齢者の心身の特徴を理解し、高齢者の持てる力を活かした看護を実践するための基礎的能力を養う。		
授業科目の到達目標	1. 介護老人保健施設の概要を説明する。 2. 高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を説明する。 3. 高齢者の特徴をふまえたコミュニケーションをとる。 4. 高齢者の生きてきた時代背景・生活史に関連する価値観の多様性について説明する。 5. 介護老人保健施設における看護師の役割を説明する。 6. 高齢者に関心を寄せ、尊重した態度をとる。 7. 自己の老年期のイメージを明確にし、説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【学内】オリエンテーション		瀬畑仁美
2	【臨地】介護老人保健施設		瀬畑仁美
3	【臨地】介護老人保健施設		瀬畑仁美
4	【臨地】介護老人保健施設		瀬畑仁美
5	【学内】まとめ		瀬畑仁美

テキスト	
参考書	
成績評価の方法	実習評価表に準じる
その他、受講生への要望など	既習の知識・技術をもとに高齢者と積極的にコミュニケーションをはかってみましょう。

授業科目	小児看護概論		
担当者名	小堀 明美	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	子どもは一人の権利を有する人として尊重されるべき存在である。本科目では、小児看護の対象である子どもとその家族を統合的に理解し、子どもを取り巻く環境が子どもの成長発達、または人生に及ぼす影響について学修する。更に、子どもと関わる自己の在り様が子どもの成長発達に影響することに気付き、その役割について考える機会としたい。		
授業科目の到達目標	1.小児看護の役割と特徴について説明する。 2.子どもの人権と、それを守る権利の必要性和倫理について説明する。 3.子どもを取り巻く環境と、環境が子どもに及ぼす影響について説明する。 4.子どもの健やかな発達を支える法・施策について説明する。 5.子どもと家族の相互作用について説明する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義・演習】子どもとは 1.子どもとは 2.子どもの特徴 3.小児看護の対象・目的・役割 4.発達段階と発達課題（エリクソン）		小堀 明美
2	【講義・演習】子どもの権利 1.小児医療における子どもの権利の変遷 2.小児医療の変遷と課題 3.小児看護の変遷と課題 4.小児医療・小児看護における倫理的配慮 5.子どもの権利擁護（アドボカシー）		小堀 明美
3	【講義・演習】子どもを取り巻く環境① 1.諸統計からみた子どもと家族の健康問題 2.母子保健施策（健やか親子21） 3.小児保健医療福祉施策（児童福祉法） 4.医療費の支援		小堀 明美
4	【講義・演習】子どもを取り巻く環境② 1.ブロンフェンブレンナーの生態学モデル（発達心理学） 2.子どもの健康問題と環境 3.世界の子どもたちが暮らしの中で抱えている国際問題	課題レポート：子どもと環境	小堀 明美
5	【講義】子どもと家族 1.子どもにとっての家族とは 2.家族アセスメント 3.医療的ケア児について		小堀 明美
6	【講義】障害のある子どもと家族の看護 1.障害のある子どもと家族の想い 2.社会支援 3.子どもが体験している症状とケア	課題レポート：子どもと家族	小堀 明美 特定非営利活動法人 DAIJI 長谷川 仁美
7	【講義・演習】子どもの虐待と看護 1.現状 2.リスク因子 発生予防と早期発見 3.多職種連携と必要な支援	課題レポート：子どもの虐待	小堀 明美
8	【試験】		小堀 明美

テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学 1 医学書院
参考書	
成績評価の方法	筆記試験配点：70点 ・課題レポート配点30点
その他、受講生への要望など	"子どもにとっての最善の利益を守る看護とは何か""家族にとっての最善の利益を守る看護とは何か"共に学びましょう

授業科目	母性看護概論		
担当者名	阿部 未映子	実務経験	○
年次	1年次	学期	後期
単位	1単位	時間数	15時間
授業科目の概要	母性看護学は、生命が健全に育まれるように、女性と家族の生涯にわたる健康の維持・増進を目的としている。本科目は、女性の権利や健康を守るための概念や法律と母子を取り巻く現状について学び、母性看護学の対象と役割について理解する。		
授業科目の到達目標	1. 母性看護の目的と役割を説明する。 2. 性とセクシュアリティについて考える。 3. 母子を取り巻く環境と課題について説明する。 4. 次世代の健全育成をめざす支援と多職種連携について考える。 5. 母性看護における倫理的課題と看護師の役割について考える。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】母性看護とは 1. 母性看護の変遷 2. 母性看護の目的・役割		阿部 未映子
2	【講義】母性とは 1. 愛着・母子関係と家族発達	レポート 課題 課題	阿部 未映子
3	【講義】性と生殖 1. 性と生殖機能 2. セクシュアリティ・性的マイノリティと支援		阿部 未映子
4	【講義】ヘルスプロモーション 1. ヘルスプロモーション 2. リプロダクティブヘルス／ライツ		阿部 未映子
5	【講義】母性看護と統計 1. 母子保健と統計 出生 死亡 婚姻		阿部 未映子
6	【講義】母性看護と法律 1. 母子保健に関する法律		阿部 未映子
7	【講義・演習】次世代の健全育成をめざす支援 1. 子育て世代包括支援センター 切れ目のない支援 2. 子ども家庭センター 3. 子どもの虐待	レポート 課題	阿部 未映子
8	【講義・演習】母性看護の倫理 1. 生殖医療と倫理的課題 1) 生殖補助医療 2) 出生前診断	レポート 課題	阿部 未映子

テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学 1 医学書院		
参考書			
成績評価の方法	テスト：配点 6 0 点・課題レポート：配点 4 0 点		
その他、受講生への要望など	母性とは何か幅広く考え、母性看護の目的と役割について、共に学習していきましょう。		

授業科目	精神看護概論		
担当者名	大垣 芳之	実務経験	○
年次	1 年次	学期	後期
単位	1 単位	時間数	15時間
授業科目の概要	精神看護学領域の対象は、乳幼児期から老年期まで全てのライフサイクルの人々である。そのため本科目では、健康な人々を含めた全ての人々の精神の健康を保障するための精神保健の意義を学ぶ。また、わが国における精神医療の歴史、精神看護に関わる法律の変遷と倫理などについて理解し、現在社会における精神保健上の諸問題について自己の考えを持つことを目指している。		
授業科目の到達目標	1. 精神看護の目的および機能を理解できる。 2. 精神看護の歴史の変遷から、現代における精神科医療の課題を説明する。 3. 精神保健医療に関わる法・制度を説明する。 4. 精神科医療においておこりやすい人権と倫理的問題について説明できる。 5. 脳の仕組みと精神機能、その障害について説明する。 6. 精神看護の基盤となる理論を理解する 7. 現代社会におけるメンタルヘルスの課題と対策を理解する。		

回数	内容・方法	課題	担当
1	【講義】精神看護学とは 1. 精神看護について	事後レポート	大垣 芳之
2	【講義】精神保健医療福祉の変遷・現在社会における精神保健上の諸問題 1. 過去と現在、未来について 1) 精神障害の治療と歴史 2) 日本における精神医療の流れ 3) 精神障害と文化・社会学 4) 精神医療福祉対策とその動向	事前課題 (精神医療の流れ)	大垣 芳之
3	【講義】人間の心のはたらき/心の危機とストレス 1. エゴグラム (自分の強みや弱みについて考える) 2. ライフサイクルにおける脳の発達	事前学習 (エゴグラムと結果)	大垣 芳之
4	【講義・演習】精神看護の理論について 1. 自己の弱みと理論家のつながり 2. リカバリーとストレンクス 3. こころの健康を維持するための方法を提案する	事前学習 (精神看護の理論家)	大垣 芳之
5	【講義】精神障害と法制度 1. 法制度 1) 法律の意味と役割 2) 精神領域で必要な法律と制度	事前課題 (法制度)	大垣 芳之
6	【講義】精神科医療においておこしやすい人権と倫理的問題 1. 倫理的問題と人権問題	事前学習 (人権問題と倫理的問題)	大垣 芳之
7	【講義・演習】メンタルヘルス 1. 心の健康を維持するための方法を発表 1 G×7分	講義内容に沿ったテキストの項目を精読する。	大垣 芳之
8	【試験】		大垣 芳之

テキスト	系統看護学講座 専門分野 精神看護学（１）精神看護の基礎 医学書院
参考書	
成績評価の方法	筆記試験：70点 パフォーマンス評価：15点 レポート評価：15点
その他、受講生への要望など	事前学習は期日までに提出してください。 自己のセルフケアや倫理の問題、人権問題について考える機会になりますので、積極的に講義やグループワークに参加することを期待します。